

ほっかいどう

広報紙

その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.



2020.4.24
民族共生象徴空間
オープン



当たる
道産品
裏表紙をチェック! >>>

2020年
3月号
令和2年2月発行
通巻234号

【特集】世界から選ばれる、魅力ある観光地づくり

北海道の魅力を世界に発信し、
国内外の交流を拡大していきます。



北海道と世界が直接つながる
大きなチャンスを生かし、
本道の価値を発信していきます。

北海道知事 鈴木直道



2020年は 北海道・新交流時代の幕開け

近年、北海道を訪れる外国人観光客が増え続けています。2018年度は、アジア地域の経済成長などが追い風となり、外国人来道者数が初めて300万人を超えました。

2019年は、道内では17年ぶりに欧州路線、12年ぶりにオーストラリア路線が就航したほか、G20観光大臣会合では、北海道の食と観光を世界に発信することができました。

そして、2020年は道内7空港の一括民間委託のスタートや、アイヌ文化の復興・

発展の拠点となるウポポイのオープン、東京2020オリンピックにおけるマラソン、競歩、サッカー競技の札幌開催など、本道の魅力が世界に届き、国内外との交流の一層の拡大が期待される「北海道・新交流時代」の幕開けとなる年です。

今後10年、北海道はさらに飛躍しようとしています。2030年の札幌招致を目指す冬季オリンピック・パラリンピック、北海道新幹線の札幌開業までの間に、現時点で予定されるさまざまなイベントがあり、こうした機会を通じて、世界の人々の注目が北海道に向けられる機会がますます増えていきます。

地域の活性化につながる 観光地づくりへ

道では、北海道を訪れる外国人観光客数の堅調な伸びをビジネスチャンスにつなげ、“稼ぐ観光”を確立しようと取り組んでいます。そのために重要なのは、世界から目的地として選ばれるような国際的に質の高い観光地づくりであり、北海道の豊かな地域資源を生かした滞在型観光を充実させるための取り組みを進めています。

道民の皆さんも、ぜひ道内各地への旅を体験して、道民だからこそ気づく北海道のすばらしさを感じてみてください。

▶特集に関するお問い合わせ 道庁観光局 ☎(011)204-5303

北海道では、さまざまな広報媒体で道政情報や北海道の魅力を発信しています。

北海道公式ウェブサイト



北海道庁広報Twitter



北海道ミライノート



北海道庁ブログ
「超!!旬ほっかいどう」



北海道庁インターネット
放送局「Hokkai・Do・画」



北海道メールマガジン
Do・Ryoku(動・力)



北海道の広報番組
情報カフェ
赤れんが
HTB
2020年
3月7日(土)
午前11時13分(予定)
オープン間近のウポポイ情報などをお届けします。

ほっかい家族

絵：あいば ゆう(第2回北のまんが大賞 大賞受賞)



さあ、地元の魅力再発見!!!
詳しくは中面へ

自然やアクティビティーを楽しむ滞在型観光

●四季を味わえる

アドベンチャートラベル

アドベンチャートラベル(AT)とは、アクティビティー(身体的活動)、自然、異文化体験の3つの要素のうち、2つ以上を組み合わせた旅のスタイルのことで、欧米を中心に年々拡大している市場規模は約72兆円といわれています。

北海道は、四季を通じて楽しめるコンテンツが豊富にそろっており、道では、こうした優位性を生かして滞在型観光を充実させていこうと、海外富裕層を中心としたAT旅行者の拡大に向けた取り組みを進めています。現在は、世界最大のATイベントである、アドベンチャートラベル・ワールドサミット2021の開催実現に取り組んでいるほか、ATに対応できるガイドの育成などに力を入れています。



ATという新しい旅を通じて、北海道の魅力を再発見しませんか。



鶴雅リゾート株式会社 取締役 アドベンチャー事業部部長
高田 茂さん

2018年に開設した「鶴雅アドベンチャーベースSIRI」は、世界的にも希少なフィールドで滞在型の旅を発信するアドベンチャートラベル基地。阿寒摩周国立公園という屈指の自然環境を舞台に、登山を含むトレッキングやフィッシング、ノルディック・ウォークなど、四季を通じてアクティビティーを楽しんでいただいています。

ATガイドの役割は、地域の自然と文化の魅力を最大限に活用し、お客さまのニーズに合った旅の楽しさを提供すること。安全面の配慮や知識・経験は大事ですが、私は日頃からスタッフに「森のエンターテイナー」としてお客さまに接してほしい」と伝えています。

道内でのATの取り組みは始まったばかり。SIRIを利用する欧米のお客さまは3割ほどで、今後も増えると予想しています。一方で、道内外から訪れる日本人のお客さまが「阿寒の魅力を再発見した」とリピーターになってくれることも多く、励みに感じています。道民の皆さんも、ATという新しい旅をぜひ体験して、北海道の魅力を再発見してみてください。



SIRIで体験できるノルディック・ウォーク

●歴史・文化の魅力を

生かした観光地づくり

外国人観光客にとって日本の歴史や文化は魅力的な要素で、その土地への理解と愛着を深め、旅の満足度を高めることにつながります。

北海道には、縄文遺跡群や北前船などの日本遺産、ウポポイ(民族共生象徴空間)など、本道独自の歴史・文化を伝える資源が豊富にあります。

道では、こうした資源を生かして地域の魅力の向上につなげるため、公益社団法人北海道観光振興機構と連携して、ATやサイクルツーリズムといった新たな体験型観光の振興などに取り組んでいます。

※北前船は、江戸時代から明治時代にかけて、大阪と北海道を日本海回りで結んでいた帆船で、北海道からは昆布やニシンなどを運び、寄港地で商品を売り買いしながら航海していました。



ウポポイでは、アイヌ古式舞踊などアイヌ文化を体験できます

北海道を遊ぼう! 2020

北海道の体験型観光に関する最新情報を集めたイベントを開催します。
主催:北海道、(公社)北海道観光振興機構



来よう!
キュンちゃんも

道内各地の魅力的なアウトドアフィールドや旬の体験メニューの紹介、キャンピングカーの試乗体験、クイズ&抽選会、北海道観光PRキャラクター「キュンちゃん」との撮影会など、アウトドア派にぴったりの企画が盛りだくさん。道内旅行のプランに役立つ情報をお届けします。参加無料で、事前申し込みは不要です。ぜひご家族でご来場ください。

●日時/3月21日(土)、22日(日)10~18時(22日は17時まで)

旅して体験!北海道

検索

●会場/サッポロファクトリーアトリウムおよび煙突広場(札幌市中央区北2条東4丁目)



ウポポイ(民族共生象徴空間)が 2020年4月24日、白老町にオープン。 ぜひアイヌ文化を体感してください。



▶お問い合わせ 道庁アイヌ政策課
☎(011)204-5185

アイヌ文化の復興・発展のための拠点

この春、白老町に誕生する「ウポポイ」は、アイヌ語で「(おおぜいで)歌うこと」を意味します。私たちの国の貴重な文化でありながら、存続の危機にあるアイヌ文化の復興・発展のための拠点となるナショナルセンターです。

北日本初の国立博物館である「国立アイヌ民族博物館」、さまざまなプログラムを通じてアイヌ文化を体験できる「国立民族共生公園」などで構成されています。

独自の言葉であるアイヌ語や信仰に触れ、伝統芸能・食・ものづくりを体験することで、アイヌ民族がどのように自然と向き合い、文化を受け継いできたのか、一緒に学びましょう。

ウポポイの主な施設



ウポポイ(完成予想図) 提供:文化庁 ※本画像はイメージ図です。

先住民族アイヌを主題とする日本初の国立博物館

国立アイヌ民族博物館



国立アイヌ民族博物館
(完成予想図) 提供:文化庁

口承文芸をはじめ、アイヌ語由来の地名、カムイ(神)の考え方や自然観、衣食住や他文化との交流などを、アイヌ民族の視点で多彩に展示します。

体験型フィールドミュージアム

国立民族共生公園



アイヌ古式舞踊

アイヌ古式舞踊をはじめ、食文化、ムックリ(口琴)の演奏や伝統工芸品づくり、アイヌの子どもたちの遊びなど、多様な体験プログラムが用意されています。

世界中から多くの方に
来ていただき、
アイヌ文化を知って
ほしいですね!



ウポポイ開設
PRアンバサダー
宇梶 剛士さん

「アイヌ」は「人間」という意味だと教わりました。ウポポイが日本国内はもとより、世界中から人が集まり、現代人が忘れかけた時の流れや優しさ、自然との向き合い方など、「人間」本来のあり方が見える「窓」のような存在になってくれたらいいですね。

<2020年度 営業日・営業時間>

期 間	営業時間
4月24日(金)~7月19日(日) 9月1日(火)~10月31日(土)	平日/9:00~18:00 土日祝日/ 9:00~20:00
7月20日(月)~8月31日(月)	9:00~20:00
11月1日(日)~3月31日(水)	9:00~17:00

※休業日/月曜日(祝休日の場合はその翌日以降の平日)
および年末年始(12月29日~1月3日)

●前売り入場券は全国主要コンビニ、右記ウェブサイトで購入できます。

<入場料(税込)>

	個 人	団 体 (20人以上)
大 人	1,200円	960円
高校生	600円	480円
中学生以下	無 料	無 料

※博物館と公園の共通券
(博物館の特別展示や一部の体験メニューを除く)

<駐車場>

一般駐車場	約480台
大型駐車場	約80台

<住 所> 白老町若草町2丁目
※JR白老駅から徒歩約10分、
白老ICから車で約10分

最新情報は「ウポポイ」
ポータルサイトを
ご覧ください。

ウポポイ

検索



を元気にする取り組みです。

▶特集に関するお問い合わせ 道庁観光局 ☎(011)204-5303
道庁食関連産業室 ☎(011)204-5979

の歴史や文化に触れる旅

北前船の歴史を生かし、観光メニューの充実を目指します。



新幹線木古内駅活用推進協議会 事務局
(木古内町まちづくり新幹線課新幹線振興室 主査)
畑中 正実さん

当協議会は、北海道新幹線木古内駅を拠点として、駅周辺の道南西部9町の自治体や公共交通機関などが中心となり、観光による地域活性化を目指して活動しています。

当エリアでは、北前船に関連する歴史・文化ストーリーが2017年、道内初の日本遺産に認定されたことを受け、今年度から取り組んでいるのが、北前船を地域ブランドとして活用した観光地づくりです。江戸時代から明治時代にかけて、北前船の交易やニシン漁で繁栄した道南西部地域には、往時の文化や伝統が色濃く残っていることから、歴史的な観光資源をPRするとともに、地域の一体感の創出に取り組んでいます。

その一環として昨年10月、東北の旅行エージェントを招いてモニターツアーを実施。松前漬づくり体験や江差追分実演鑑賞のほか、団体ツアーでしか体験できない観光メニューを盛り込み、特別感を演出するよう工夫しました。今後は、観光資源の魅力を伝えられるガイドの養成など、受入体制の整備を進め、団体ツアーの造成につなげていきます。



モニターツアーでは、江差追分の実演(左)や地域のガイドによる解説(右)などを実施



食の魅力で北海道を発信！

道産ワインのブランド力向上

北海道は、ブドウ栽培に最適な条件がそろった地域として注目され、近年、急速にワイナリーの集積が進んでいます。

道産ワインのブランド力を高めるために道が取り組んでいるのが、地理的表示(GI)制度です。地域の農産物や食品をブランドとして登録・保護するための制度で、2018年6月、国税庁からワインの地理的表示「北海道」が指定されました。これにより、北海道産ブドウ100%などの生産基準をクリアしたワインにのみ「北海道」の表示が可能になり、他製品との差別化や消費者の信頼性の向上などが期待できます。

道では今年度、道内外の一流シェフなどとの連携によるテストマーケティングや、国内外でのワインプロモーションなどを実施。今後もGI制度を広め、品質向上や販路拡大、ワイン造りに携わる人材育成などに取り組んでいきます。



「GI Hokkaido」は、生産基準を満たした道産ブドウ100%の上質ワインの目印

道産ワインのおいしさを広め、世界市場での認知度を高めたい。



NPO法人
ワインクラスター北海道
代表理事
阿部 眞久さん



道内には41カ所のワイナリーがあり(2019年11月現在)、それぞれに個性豊かなワインが造られています。当法人は地理的表示「北海道」使用管理委員会の事務局として、道産ワインの普及のための活動を進めています。

道と連携して今年度に取り組んだのが、シンガポール、ロンドン、東京で開催した道産ワインと食のプロモーションイベント。中でもロンドンは、世界のワイン流通の拠点として知られ、こうした場で道産ワインに好意的な評価を得られたことに手応えを感じつつも、今後は、品種や製法の特長をしっかりと伝えることで世界市場での認知度を高めていくことが課題だと感じました。

また、道産ワインの価値を広めるためには、飲食店をはじめとするプロ向けのプロモーションも重要です。どんなシーンや料理に合わせて道産ワインを提供するとおいしく味わってもらえるかを学び合う場として、プロ向けのワインセミナーなどを開催し、道産ワインの価値を知って選んでもらえる環境づくりを今後も進めていきます。



ロンドンで行われたプロモーション



プロ向けのワインセミナー

まさかは必ずやってくる 防災ガイド

防災・災害情報は 北海道 危機対策 検索

3月は真冬の寒さが和らぐ季節ですが、時には急激な暖気で急速に雪解けが進み、想定外の被害が発生することがあります。一



2018年3月 増水した釧路川(標茶町)

昨年3月上旬には記録的な大雨や気温上昇による融雪のため、標茶町をはじめ道内各地で浸水などの被害が発生しました。気象情報に注意し、最新のハザードマップと避難場所を確認し

ておきましょう。▶道庁危機対策課 ☎(011)204-5008



標茶町役場総務課
交通防災係長
伊良子 一貴さん

融雪災害に備えましょう

気象情報に注意し、
避難場所などを再確認！

いきいき 地域 から

総合振興局・振興局の話題をお届けします。



で氷上露天風呂やアイスバー、アイスチャペルなど、雪と氷の世界が楽しめます。

また、上士幌町の「ぬかびら源泉郷スキー場」では、上質なパウダースノーでスキーやスノーボードが満喫でき、歩いて5分のところには源泉かけ流しの温泉もあります。まだまだ冬を楽しみに、ぜひ十勝にお越しください。

鹿追町観光協会 検索 ▶鹿追町観光協会 ☎(0156)66-1135
上士幌町観光協会 検索 ▶上士幌町観光協会 ☎(01564)7-7272



しかりべつ湖コタン
氷上露天風呂

ひだかの春を満喫しよう！

ひだかの春は、春ウニや桜など魅力的なコンテンツが多くあり、管内では4月から5月にかけて「えりもりに祭り」「さまにウニまつり」「浦河桜まつり」「しずない桜まつり」などイベントが盛りだくさん。また、ひだかの春をPRする「ひだかSpring Premium」を4月から5月の期間実施し、PRイベントや素敵な企画を予定しています。一昨年、日高厚質ICが開通し、札幌から車で約70分とぐんと近くなったひだかの春を、満喫しに来てください。



※写真はイメージです。

ひだか観光ナビ 検索 ▶日高振興局地域政策課 ☎(0146)22-9077

お知らせ 道議会

定例会の概要などをお伝えします。

令和元年第4回定例会(11/26~12/12)

■定例会の概要

知事から予算案3件(総額64億7,700万円)と条例案10件、その他の案件8件が提案され議決するとともに、前会より継続審査の決算案件4件を認定しました。

また、議員や委員会から提出された意見案5件を原案のとおり可決しました。

■本会議や予算特別委員会の主な議論

●統合型リゾート施設(IR)の誘致判断とその判断に至った経緯および今後どのような対応を行っていくのか

●JR北海道の問題に対し、オール北海道による国に対する提言に向けて、道としてどのように取り組んでいくのか

●幌延深地層研究計画について、計画延長の申し入れにどう対応し、その内容を道民にどのように説明していくのか

●法定外目的税(仮称)観光振興税について、先行して検討している自治体との調整など、道は今後どのように導入に向けて取り組んでいくのか

●東京2020オリンピック競技大会のマラソンと競歩について、札幌市での開催が決まったが、道は今後どのように組織委員会や札幌市などと連携し、取り組みを進めていく考えなのか

●日米貿易協定の合意に対し、北海道の農畜産業への影響を道はどのように認識し、また持続的な発展に向けて、今後どのように取り組んでいくのか

■主な議決の状況

◎知事提出案件 25件

●予算案 3件

台風災害などによる被災施設の早期復旧や再度災害の防止を図る経費 など

●条例案 10件/その他 8件/決算 4件

北海道無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例案 など

◎議員・委員会提出案件 5件

●意見案 5件

日米貿易協定に関する意見書 など

■議員と札幌大学学生との意見交換会



意見交換会後の記念撮影

札幌大学との包括連携協定に基づき、議員と学生が「外国人労働者の受け入れ」などといった北海道の諸課題について意見交換を行いました。

～次回定例会のお知らせ～

令和2年第1回定例会は、2月下旬に開会予定です。最新情報はウェブサイトやツイッター(@hokkaidogikai)などをご覧ください。

～ウェブサイトをご覧ください～

議会中継・録画、議会の日程、会議録、傍聴・見学案内、議会時報などをご覧いただけます。

北海道議会 検索

質問などの詳細は、冊子「北海道議会時報」でもご覧いただけます。各振興局等での閲覧のほか希望者への配布もしますので、下記にご連絡ください。

▶議会事務局政策調査課 ☎(011)204-5691

みんなの赤れんが

お問い合わせは
▶マークの窓口、またはウェブサイトへ。

道立北の森づくり専門学院 第1期生募集中!

4月に旭川市に開校する「北海道立北の森づくり専門学院」では、北海道の次代の林業・木材産業を担う方を募集中。経験の有無を問わず意欲あふれる皆さんの応募をお待ちしています。

出願期間	2月14日(金)～3月12日(木)
試験日	3月19日(木)[札幌・東京]
試験科目	小論文および面接
出願資格	高校卒業程度の学力を有し、40歳以下
その他	就学支援制度あり

北森カレッジ 検索
▶道庁林業木材課
(011)206-6579

MONOテクと障害者職業能力開発校の訓練生募集中!

道が運営する職業訓練施設「MONOテク(北海道立高等技術専門学院)」(全道8校)と「北海道障害者職業能力開発校」は、4月入校生を募集中です。専門的な知識や技術・技能を身につけて就職を目指しませんか。3月末に離職される方も入校できるよう、4月も応募を

お待ちしております。詳しくは次のウェブサイトへ。
MONOテク 障害者校 検索
▶道庁人材育成課 (011)204-5359

サイバー犯罪への対策を強化しましょう

ネットバンキングを狙った不正送金事案やパソコンのウイルス感染被害など、国民生活を脅かすサイバー犯罪の危険性が社会全体で大きく取り上げられています。サイバー犯罪の被害に遭わないように、次の対策を実施しましょう。

- パソコンやスマートフォンにはウイルス対策ソフトをインストール
- パソコンの基本ソフト(OS)やウイルス対策ソフトは常に最新の状態に
- 身に覚えのないメールの添付ファイルやURLは開かない
- 不必要なアプリや信頼の置けないサイトからソフトウェアをダウンロードしない
- 定期的にバックアップデータを保存
- IDやパスワードは、自分自身でしっかり管理
- オンラインショップでの買い物では、そのサイトが本物かどうかよく確認

サイバーセキュリティは、一つの対策を講じれば大丈夫というわけではありません。複数の対策を併用してインターネットを安全に利用しましょう。

道警 サイバーセキュリティ 検索
▶道警サイバーセキュリティ対策本部
(011)251-0110

保育士資格をお持ちの方の就職を支援します!

道内各地の保育所で保育士が不足しているため、保育士資格をお持ちの方々の就職支援を行っています。保育の仕事から離れている方はもちろん、現在お勤めされている方でも登録が可能です。就職に役立つ情報が得られるほか、相談もできます。ぜひ登録をお願いします。

【届出対象】
保育士資格をお持ちの方
【届出方法】
次のウェブサイトから簡単に登録できます。

福祉のお仕事 検索
▶北海道福祉人材センター
(011)272-6662

所得税・個人事業税・住民税の確定申告は3月16日まで

所得税・個人事業税・住民税の確定申告の税務署および市町村窓口受付期間は、2月17日(月)から3月16日(月)までです。期限間近になると窓口などが大変混雑することが予想されますので、申告は早めに済ませましょう。

また確定申告書は、パソコンやスマートフォンなどで作成でき、作成した申告書はe-Tax(電子申告)で送信、または印刷して郵送等により提出することができます。詳しくは次のウェブサイトをご覧ください。

確定申告 検索
▶道庁税務課 (011)204-5060

ブロック塀の安全点検のお願い

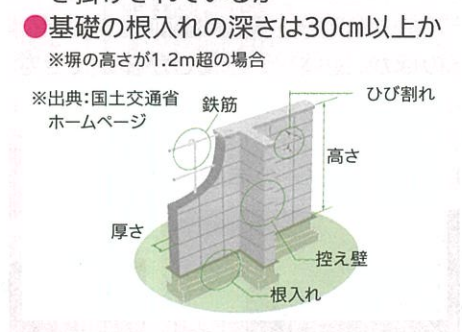
ブロック塀を所有・管理している方は、防災対策として、次のチェックポイントをもとに、安全点検を行ってください。

1～5をチェックし、一つでも不適合がある場合は危険ですので、付近通行者への注意表示と、塀の補修や撤去を行いましょう。わからないことがあれば、専門家に相談してください。

- ＜チェックポイント＞
- 1 塀の高さは地盤から2.2m以下か
 - 2 塀の厚さは10cm以上か
※塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上
 - 3 塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか
※塀の高さが1.2m超の場合
 - 4 コンクリートの基礎があるか
 - 5 塀に傾き、ひび割れはないか

＜専門家に相談しましょう＞

- 塀の中に直径9mm以上の鉄筋が縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか
- 基礎の根入れの深さは30cm以上か
※塀の高さが1.2m超の場合



ブロック塀に関する相談は、お住まいの市町村の建設担当課または各総合振興局・振興局の建設指導課にお問い合わせください。▶道庁建築指導課 (011)204-5097

おいしい! 道産品プレゼント! ホクレン「北海道産ゆめぴりかの発芽玄米 グラノーラ」をプレゼント!

次のアンケートに答えて道産品を当てよう! ※当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。
北海道が観光地としてたくさんの人を「おもてなし」する上で大切だと思うものは?(複数回答可)
①笑顔 ②あいさつ ③外国語対応(会話・案内板など)
④食べ物(ベジタリアン、ヴィーガンなども含む) ⑤心のこもったサービス

●応募方法: アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキまたはウェブサイトでご応募ください。
●応募期限: 3月19日(木)必着 応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。
●応募先: 〒060-8588(住所不要)北海道広報広聴課
「広報紙3月号 おいしい道産品プレゼント!」係 広報紙ほっかいどう 検索

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。※12月号のプレゼントには、6,612件の応募をいただきました。

北海道の人口	令和元年12月末	前年同月比
総人口	5,268,166人	36,726減
男	2,488,844人	17,218減
女	2,779,322人	19,508減

※人口は毎月公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

次号のお知らせ 次号は5月に配布予定です。



この広報紙は環境に優しい植物性インキを使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

協会けんぽの加入者・事業主の皆さまへ 令和2年3月分(4/30納付期限分)から

協会けんぽの保険料率が改定されます

任意継続被保険者の方は、本年4月分(4/10納付期限分)の保険料から変わります。

協会けんぽ 北海道支部

健康保険料率

現行	令和2年3月分～
10.31%	10.41%

介護保険料率

現行	令和2年3月分～
1.73%	1.79%

Point ① 健診受診率向上

主な取り組みとして、「個人宛の受診勧奨」「土・日の休日健診」「検診車による集団健診」「自己負担無料の家族健診」などを実施。平成30年度の40歳以上の北海道支部加入者の健診受診率は47.1%となっています。

Point ② ジェネリック医薬品の使用促進

ジェネリック医薬品に変更した場合の自己負担の軽減額を加入者の皆さまにお知らせするとともに、各支部でセミナー等を開催。変更による医療費の軽減額は累計で約1,310億円(推計)です。

Point ③ 医療機関への適切な受診

加入者の皆さまに対し、夜間や休日に医療機関へ受診した場合や、紹介状を持たずに大病院へ受診した場合に割増料金がかかる等、「医療費の節約」につながるポイントをお知らせしています。なお、詳細については協会けんぽホームページをご確認ください。

加入者の皆さまの医療と健康を支えるため、このようなご負担につきまして、何とぞご理解をいただきますようお願い申し上げます。

加入者お一人おひとりの健康づくりが、保険料率の上昇を抑える大きな力になります。

※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているものです。